

# 日本生殖看護学会

## ニュースレター

No.

66

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

### 目次

・第21回日本生殖看護学会学術集会報告 「多様な社会に求められる生殖看護 - 未来への挑戦と創造 -」	1
・第21回日本生殖看護学会学術集会 一般演題発表 優秀賞を受賞して	2
・2023(令和5)年度日本生殖看護学会書面総会報告	3
・日本生殖看護学会 生殖看護地区実践セミナー企画	3
・2023年度 予算書	4
・学会誌に投稿しよう!	4
・これから行われる学術集会・研修会情報(2023年11月～2024年2月)	5
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿No.23	5
・日本生殖看護学会ホームページ マイページ登録のお願い	5
・研究結果をどう臨床に応用するか ～生殖看護の新たな価値に向き合う看護者の倫理的視点の重要性～	6
・2023年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会のご案内(第1報)	6
・理事会報告	7
・「生殖看護ガイドブック」発刊を記念して	7
・事務局からのお知らせ	8
・会員数MAP	8
・原稿を募集しています!	8
・編集後記	8

### 第21回日本生殖看護学会学術集会報告

#### 「多様な社会に求められる生殖看護 - 未来への挑戦と創造 -」

学術集会長 波崎由美子

第21回日本生殖看護学会学術集会は、去る2023年9月3日(日)に福井県県民ホール(AOSSA 8階)にて、現地および翌4日から25日までの3週間のオンデマンド配信という形で開催しました。4年ぶりの現地開催でもあり、多くの参加者に福井においていただけるよう、学術集会前日の9月2日(土)の午後に、プレコンセプションケアに関する共催セミナーを実施しました。

1983年にわが国で初の体外受精によるお子様が誕生して以来40年が経過しました。その間に生殖医療を必要とする対象が多様化していることを実感し、日本生殖看護学会が21年目という更なる発展のリスタートでもあることから、現代の多様な社会と対象への妊孕性支援について考え、未来の生殖看護を語り合う機会とできればとテーマを選定しました。

学術集会前日・共催セミナーでは、公衆衛生学の前田恵理氏に「生殖看護に期待したいプレコンセプションケア」というテーマでご講演いただき、その後、ワールドカフェ形式でワークショップを行いました。各自が取り組んでいるプレコンセプションケアの現状と理想の未来について、福井の美味しいスイーツを食しながら楽しく活発に語り合い、それぞれの現状と課題を共有し、今後を考えることができました。

学術集会の特別講演では、上野啓子氏に「ART出生児の長期予後から考える生殖看護の役割」について、ランチオンセミナーでは、太田邦明氏に「葉酸を通じたチーム医療で、『人生の最初の1000日間』を創る」を

ご講演いただきました。シンポジウム「リプロダクティブヘルスを支えるARTとケアの未来」では、澤辺麻衣子氏、戸田さやか氏、くどうみやこ氏、菅野伸俊氏に、それぞれ、生殖補助医療の保険診療への支援、第三者配偶子提供への意思決定支援、子どものいない女性への支援、男性不妊患者への支援という視点からご登壇いただきました。また、2022年、福井県に待望の高度生殖医療センターが開設されました。その副センター長、折坂誠氏に「つなぐ力ー福井モデルと生殖医療の未来」と題し、福井からの生殖医療と看護の未来を発信していただきました。一般演題は、口演6題、ポスター発表6題の発表があり、多様で大変有意義な内容でした。

私自身、改めて小さな一地方都市である福井から生殖医療と看護の発展に尽力せねばと、強く勇気づけられた2日間でした。皆様にとって、生殖看護に携わる私たちに求められる未来の妊孕性支援を新たな視点で考える機会となりましたなら幸いです。

お陰様で、350名以上の方にご参加いただき、どのプログラムも大変好評でした。現地で、またオンデマンド配信を通して皆様とつながれたことに深く感謝いたします。最後に、企画委員や理事・監事、実行委員の皆様をはじめ、今回の学術集会をサポートしてくださったすべての方に心より感謝申し上げます。次回、群馬県で会員の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

## 第21回日本生殖看護学会学術集会 一般演題発表 優秀賞を受賞して

### 研究報告 優秀賞

#### 「若年成人男性がんサバイバーの生殖機能障害に関する経験」

日本赤十字看護大学看護学部 遠山義人

がんを抱える若年成人期の方々にとって、がんや治療に伴う性や生殖の問題は、センシティブなテーマ故にケアを確立しづらい現状があると感じています。特に男性は苦悩を他者に語りづらいという傾向もあり、看護の現場で彼らの経験を理解しケアに繋げることを難しく感じる方も少なくないのではないのでしょうか。そのため私は、研究という形で彼らの語りを紐解き、経験を理解し、多くの方々に届けることで、性や生殖の問題を抱える彼らへのケアを創造することを目指し本研究に取り組みました。今後、皆様とのさらなる議論を通して彼らへのよりよい看護を模索したいと思っています。この度は大変貴重な賞をいただきありがとうございます。

### 実践報告 優秀賞

#### 「卵子提供を検討するカップルへの情報提供セミナー実践報告」

群馬大学ダイバーシティ推進センター 林はるみ

最近、第三者の配偶子や胚の提供によって家族形成した人々が、SNSで積極的に情報を発信するようになりました。2018年からの科研費による研究を通して、卵子提供を決める前のカップルは専門職などから否定されずに、この治療に関連する情報提供のニーズがあることがわかってきました。私はこれを実践に発展させ、自助グループの協力を得て情報提供セミナー（通称「お話し会」）を開催してきたため、学術集会では上記の内容とアンケート結果について報告させていただきました。

この受賞を励みに、今後もニュートラルな立場でお話し会を継続し、卵子提供を検討するカップルへの支援に発展させていきたいと思っています。この度は、ありがとうございました。

## 2023 (令和5) 年度日本生殖看護学会書面総会報告

日 時：2023年9月3日(日) 13:08～13:35

会 場：福井県民ホール(アオッサ8階)

出席者：会場出席者27名、委任状147通

### 1. 議案について

#### 報告事項

- 1) 理事会報告
- 2) 総務(事務局)報告
- 3) 事業報告
- 4) 第22回学術集会と集会長について

#### 審議事項

- 1) 会則第3条の改正について  
生殖医療技術の進展と適用拡大をいう社会及び医療の変化に伴い、「不妊看護」に留まらなくなってきた現状を踏まえ、会則第3条を改正し、「生殖看護」とする。
  - 2) 2022(令和4)年度収支決算ならびに会計監査
  - 3) 学会設立20周年記念事業の生殖看護テキストの出版に関する収支報告  
会員の協力で目標以上の寄付が集まり発刊できたことへの謝辞が伝えられた。必要経費の支払い後、残金は学会会計に返金予定であることを報告した。
  - 4) 2023(令和5)年度事業計画案
  - 5) 2023(令和5)年度収支予算案
- 審議事項1、2、3、4、5に関し、会場出席者の挙手多数により承認された。

### 2. 学会からのお知らせについて

- 1) 「生殖看護ガイドブック」の会員向け販売について  
「生殖看護ガイドブック」の買取分のうち、発送後、90冊程度事務局に残っている。この90冊は、会員は1割引きで購入可能である。学会ホームページから事務局を通して購入希望を申し込んでもらうよう依頼した。
- 2) 第22回学術集会の告知  
会長：林はるみ氏(群馬大学ダイバーシティ推進センター 教授)  
日程：2024(令和6)年9月22日(日)  
会場：昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)

## 日本生殖看護学会 生殖看護地区実践セミナー企画

日本生殖看護学会教育推進委員会では、会員が主催する各地区のセミナーを支援しています。ぜひ、効果的(学習目標が達成できる)、効率的(参加者・主催者が目標を達成するまでの負担が大きい)、魅力的(参加したいと思える、もっと学びたいと思える)なセミナーを企画してみませんか。また、開催に当たって1件上限7万円の助成金も出しております。

初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもセミナーを開催したいけれども、…どうしたらよいかわからない等がありましたら、お気軽にご相談ください。詳しくは学会ホームページ(助成金：生殖看護地区実践セミナー企画)をご覧ください。

お問合せ  
連絡先

日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 野澤美江子、奥島美香、中村希

e-mail : jsfn.edu@gmail.com

## 2023年度 予算書

(2023年9月1日から2024年8月31日まで) 日本生殖看護学会

### 一般会計

#### 収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,580,000	会員 320名×8,000円 賛助会員 2名×10,000円
繰越金	前年度繰越金	8,974,850	
総収入合計		11,554,850	

#### 支出の部

(単位：円)

科目	小科目	予算額	備考
会議費	理事会会議費	250,000	1回の対面理事会を含む 総会資料作成・往復はがき代
	総会費	180,000	
事業費	広報事業	445,000	ニュースレター年3回発行・リーフレット印刷 地区セミナー開催・ポストコース開催 Fine祭り相談員の派遣 学会誌作成・発送・学会誌の電子化 研究促進研修会・研究費助成 第22回学術集会補助費
	教育推進事業	360,000	
	実践開発事業	50,000	
	学会誌編集事業	1,000,000	
	将来検討事業	400,000	
	学術集会補助費	500,000	
事務費	人件費	350,000	アルバイト(PC入力)  セキュリティアップデート等
	通信費	80,000	
	消耗品費	140,000	
	HP管理料	100,000	
団体登録料	日本看護系学会協議会	80,000	【160,000】
	看護系学会等社会保険連合	70,000	
	日本カウンセリング学会	10,000	
選挙委員会活動費		200,000	【200,000】
支出合計		4,215,000	
予備費等		7,339,850	
総支出合計		11,554,850	

## 学会誌に投稿しよう！

日本生殖看護学会誌(第21巻第1号)への投稿締切:2023年11月24日(金)

皆様が行った研究や実践を論文として形にすることは、生殖看護に携わる看護職の皆様へ知識を与え、広く活用されることにより看護の質の向上につながります。研究に協力して下さった方々へ感謝の気持ちを示すことにもなります。学術集会でご発表くださいました皆様、投稿にチャレンジしてみませんか？

投稿に関する詳細は、学会ホームページの「論文投稿規定」をご確認ください。

たくさんのご投稿をお待ちしております！

<原稿の送付先・ご連絡先>

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1  
産業医科大学 広域・発達看護学講座 實崎美奈 宛

## これから行われる学術集会・研修会情報(2023年11月～2024年2月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会HP / 運営事務局
11月	9日(木) ～10日(金) (オンデマンド 配信:11月22日 (水)正午 ～12月11日(日) 正午)	日本生殖医学会学術集会(第68回) 「次世代に紡ぐ生殖医学」	石川県立音楽堂、 ホテル日航金沢、 金沢市アートホール (石川県金沢市)	<a href="https://www.congre.co.jp/jsrm2023/index.html">https://www.congre.co.jp/jsrm2023/index.html</a> 【運営事務局】 株式会社コングレ内 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 TEL: 06-6229-2561 FAX: 06-6229-2556 E-mail: jsrm2023@congre.co.jp
	9日(木)	生殖医療コーディネーター講習会	ホテル日航金沢 (石川県金沢市)	<a href="http://www.jsrm.or.jp/qualification/coordinator_training.html">http://www.jsrm.or.jp/qualification/coordinator_training.html</a>
	18日(土) ～19日(日)	日本生殖内分泌学会学術集会 (第28回)	大津市民会館・ 大津公民館 (滋賀県大津市)	<a href="https://www.28jsre.com/">https://www.28jsre.com/</a> 【運営事務局】滋賀医科大学産科学婦人科学講座 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 TEL: 077-548-2267 FAX: 077-548-2406 E-mail: 28jsre@belle.shiga-med.ac.jp
12月	2日(土) ～3日(日)	日本女性医学学会学術集会 (第38回) 「女性医学でつながろう」	あわぎんホール (徳島県郷土文化会館) (徳島県徳島市)	<a href="https://www.congre.co.jp/jmwh38/index.html">https://www.congre.co.jp/jmwh38/index.html</a> 【運営事務局】 株式会社コングレ内 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 TEL: 06-6229-2561 FAX: 06-6229-2556 E-mail: jmwh38@congre.co.jp
	9日(土) ～10日(日)	日本看護科学学会学術集会 (第43回) 「未来を拓く看護のサイエンス& アーツ: 伝統と革新の融合」	海峡メッセ下関、 下関市生涯学習プラザ (山口県下関市)	<a href="https://jans43.org/index.html">https://jans43.org/index.html</a> 【運営事務局】 (株)JTBコミュニケーションデザイン 〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル4F TEL: 092-751-3244 FAX: 092-751-3250 E-mail: jans43@jtbcom.co.jp
2月	10日(土) ～11日(日)	日本がん・生殖医療学会学術集会 (第14回) 「IMAGINE THE FUTURE ～がん・生殖医療の未来を考える～」	水戸市民会館 (茨城県水戸市)	<a href="https://j-sfp.org/about/meeting.html">https://j-sfp.org/about/meeting.html</a>

不妊症看護認定看護師  
リレー寄稿

No.23

## 今までも、これからも

京野アートクリニック高輪 田中敦子

篠原さんからバトンを渡された、京野アートクリニック高輪の田中敦子です。私は聖路加看護大学の認定コース1期生で、認定看護師になってもう14年の月日が経ちます。認定看護師になると決めて、仕事と学業の両立に奮闘したあの頃が大変懐かしいです。今では老後を考える年頃になりました(笑)。

京野アートクリニックは仙台・品川・盛岡に3施設と、日本卵巣組織保存センター:HOPEを運営しております。ART以外に、男性不妊、妊孕性温存、卵子凍結、FT、TCR等に尽力しております。業務が拡大しても長い年月が経とうとも、私の役目はただひたすらに『聴く』ことです。患者やスタッフの困りごとを聴いて、解決できるように一緒に考えていくことです。気を付けていることは、自分の考えを押し付けない、提案はするけど最終決定は自分自身(ご夫婦)で、と日々伝えております。認定看護師になりたての頃は、何か活動をしなくてはと焦り、先輩や友人の活動が眩しく感じましたが、自分が出来ることとやるべきことを考えたら、『聴く』ことに落ち着きました。この先もこのスタンスで、目の前の子供が欲しいと悩む方々のお話を聴いていきます。

次は、東邦大学医療センター大森病院の永野妙子さんにバトンを渡します。

## 日本生殖看護学会ホームページ マイページ登録のお願い

今後、ニュースレターの送付や、重要な情報についての連絡にあたり、会員の皆様のメールアドレスを使用した連絡への移行を検討しています。入会時のアドレスから変更があると連絡ができません。マイページ登録をよろしくお願いたします！

# 研究結果をどう臨床に応用するか >>>>>

## ～生殖看護の新たな価値に向き合う看護者の倫理的視点の重要性～

順天堂大学医療看護学部 青柳優子

生殖看護との出会いは、約15年前の大学院進学後でした。産科の助産師の立場で、不妊治療を受けて妊娠出産する女性が増えてきたと感じていた頃です。不妊や不妊治療、その当事者について考える機会を得て自分の意識と向き合うこととなり、不妊治療を受けて妊娠出産する女性を無意識に特別な存在と捉えていることに気づきました。不妊治療や当事者への無知を自覚したと同時に関心が高まりました。

そこで助産師の意識(価値)に注目し、「助産師の不妊や不妊治療に関する意識は、不妊治療後の妊産婦への助産実践に関連があるか」を研究課題として調査を行いました。助産師は、より自然な生殖に近い不妊治療を許容する傾向が見られた点で、当事者との意識(価値)の相違がありました。しかし、助産師の意識(価値)は実践に関連しておらず、自己の意識(価値)を切り離して実践していることがわかりました。ただ対象との価値観の相違があった場合に、助産師がどのように女性の価値を受入れて実践するのかを考え続けました。

次に不妊症看護認定看護師資格をもつ助産師の方々へのインタビューや不妊治療後に出産した女性へのヒアリングを行いました。その結果から、不妊から妊娠、出産、育児への移行を支えることがケアのポイントになると考えました。不妊治療に特化した妊産婦への助産実践には倫理的視点が重要と考え「倫理実践」と定義づけて助産師の実践頻度と関連因子を調査しました。不妊治療を受けた妊産婦の尊厳を守りその人のニーズに応じた「倫理実践」には、知識の獲得だけでなく「倫理的・道徳的感受性」を高めることの重要性が明らかとなりました。よって次の課題は、助産師の倫理実践能力の向上と考えています。

知識の獲得においては、不妊女性や不妊治療の理解が必須ですが、不妊治療の現場を知らない助産師にとっては難しい課題となります。この度、日本生殖看護学会から「生殖看護ガイドブック」が発行されたことは非常に素晴らしく、多くの助産師にも活用していただきたいと思います。

これらの研究の最終目標は、必要な時には女性やカップルが不妊治療経験について自由に会話し、親へのプロセスを歩むことができる安心安全な環境づくりへの貢献です。私は、看護者がケアする上での意識(価値)に注目し、倫理実践にこだわりながら研究を進めてきました。それは、ケア対象者と看護職者のどちらにとってもよりよいアウトカムを得るための研究を目指していたのだと改めて気づきました。生殖看護においては不妊治療後の妊産婦に限らず、臨床現場で生命倫理の問題や新たな価値をもつ対象に関わる様々な場面が増加し、難しい課題が多い状況だといえます。研究課題が尽きることはなく、生殖医療や社会の変化に応じた、より具体的な実践に繋がる研究の重要性が高まっています。今後も生殖看護に関わる皆さまとの身近な交流や学会を通じた学びを大切に研究を続けたいと考えています。

### 2023年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会のご案内(第1報)

担当：教育推進委員会

日本生殖看護学会では、2023年度の不妊症看護認定看護師ポストコース研修会として、妊孕性、さらに周産期にも影響を及ぼす体重や糖代謝の問題を取り上げ、プレコンセプションとしての体重コントロールへ向けた支援について具体的な実践を考える研修会を企画しています。

具体的なプログラムが決まり次第ホームページでお知らせいたしますので、まずは日程の確保をお願いいたします。

テーマ(仮)：「プレコンセプションケアと生殖看護  
－栄養と体重コントロールを支援し周産期へつなげる一歩へ－」

開催日時：2024年2月3日(土) 13時00分～17時00分

開催方法：web開催

受講対象者：不妊症看護認定看護師および生殖看護に興味のある看護職

定員：100名

問合せ先：日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事：野澤美江子、奥島美香、中村希

e-mail：jsfn.edu@gmail.com

## 理事会報告

### 第3回 Web 理事会

日時：2023年8月9日(水) 18:01～20:52

方法：Zoom

出席者：上澤, 小松原, 坂上, 崎山, 實崎, 清水, 中村, 野澤, 村本, 森明, 森恵, 波崎(オブザーバー)  
(敬称略)

欠席者：奥島

#### 【報告事項】

1. 第21回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況
2. 20周年記念事業「生殖看護テキスト出版」経過・進捗状況
3. 教育推進委員会：生殖看護地区実践セミナー助成(2022年度報告、2023年度計画)
4. 広報委員会：ニュースレター発行、令和5年度活動計画
5. 編集委員会：6月に第20巻1号を発刊、電子ジャーナル化について
6. 実践開発委員会：NPO法人Fine祭りスペシャル相談員派遣について
7. 看保連対応WG：令和6年度改定の医療技術評価提案書の提出・ヒアリングについて
8. 20周年記念事業「生殖看護ガイドブック」出版に関する寄付金等の総額および支出予定について
9. 総務報告
10. その他 生殖看護認定看護師教育課程開講に関する進捗状況と研修生応募パンフレット(案)について

#### 【審議事項】

1. 日本生殖看護学会個人情報取扱規程(案)について
2. 会則第3条の改正について
3. 総会案内(はがき)について

4. 総会の進行について
5. 会計：予算書について  
※総会要綱については協議時間の不足のため、メール審議となった。
6. 第22回日本生殖看護学会学術集会長について

### 第4回理事会

日時：2023年9月2日(土) 17:15～18:21

場所：対面(福井県民ホールAOSSA 5階会議室)& Zoom

対面出席者：奥島, 上澤, 小松原, 坂上, 崎山, 實崎, 清水, 中村, 村本, 森明, 波崎(オブザーバー)

Zoom出席者：野澤, 森恵(敬称略)

#### 【報告事項】

1. 第21回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況
2. 20周年記念事業「生殖看護テキスト出版」経過・進捗状況
3. 教育推進委員会：2022年度ポストコース研修会について
4. 2022年度決算書と2023年度予算書について
5. 総会の進行について
6. その他 千葉県子育て支援課「千葉県ライフデザイン事業」動画作成の後援について

#### 【審議事項】

1. 総会における生殖看護テキストの出版に関する収支報告について
2. 入会・退会審査
3. JSTインボイス制度による利用許諾について
4. その他 会員数の増加と活動充実について

## 「生殖看護ガイドブック」発刊を記念して

日本生殖看護学会20周年記念企画  
生殖看護テキスト編集特別委員会  
森明子、上澤悦子、坂上明子、奥島美香、小松原千暁、中村希

日本生殖看護学会20周年記念企画の一環として、生殖看護テキストの出版と、そのためのテキスト編集特別委員会の立ち上げを決めたのは2021年11月でした。それから1年10か月後の2023年9月、念願かなって刊行に至りました。ご執筆いただいた本会の役員、会員、医師、生殖心理専門家等の皆様、事業にご寄付くださった皆様に厚く御礼申し上げます。また、株式会社医学書院看護出版部4課(看護書籍編集室)のご担当者様方には、企画段階からお力添えいただき、段階を追って編集作業をサポートしてくださいました。心より感謝申し上げます。生殖看護の内容を広く知っていただくため、入会からの会費を全納されている会員の皆様全員に、本テキストをお送りできたことを大変嬉しく思っております。

上澤理事長は本企画にあたり、「これまでの生殖看護における研究や実践で積み上げた臨床知見を豊富に取り入れ、初めて生殖看護に携わる看護職者へも生殖看護実践のガイドとなるべき」テキストを編みたいと述べられました。編集代表として、どれだけ目標に近づけたのか分かりませんが、柔らかく優しい色彩の、手にとりやすい書籍に仕上がりに、生殖看護に携わる看護職の身近なバイブルとなり、かつ、生殖看護って何?という初学者の方にも関心を持っていただける一冊となることを願うばかりです。

今回の出版に留まるのではなく、今後も歩みを止めることなく生殖看護の発展に寄与していきたいと思っております。

なお、会員サービスとして学会購入分の書籍が割引価格でまだお求めになれます。学会ホームページのマイページからお申込みください。

## 事務局からのお知らせ

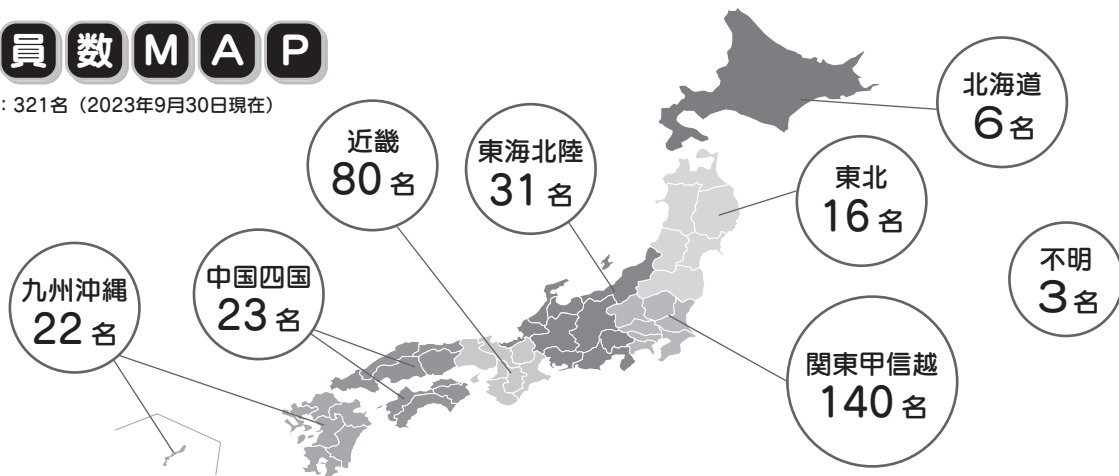
1. 学会ホームページからマイページの登録がまだお済みでない方は登録をお願いいたします。
2. 第22回学術集会、編集委員会への問い合わせは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
3. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、ホームページ、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで気軽にご連絡ください。
4. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
5. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。住所・勤務先変更届はホームページからダウンロードできます。また、ホームページのマイページからも住所・勤務先変更できます。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
6. 会員数321名(2023年9月30日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のあるお知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。また、ホームページ画面からも入会申込みができます。

### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN  
 〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22  
 東京工科大学医療保健学部看護学科内  
 E-mail : jsfnjimu@gmail.com  
 ホームページ <https://jsfn.org/>  
 口座番号：00170-2-333413  
 加入者名：日本生殖看護学会

## 会員数MAP

会員数：321名（2023年9月30日現在）



## 原稿を募集しています！

ニュースレターを通じて実践活動や勉強会などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は広報委員会 (sakiyama.takayo@gmail.com) までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2024年1月19日(金)を予定しています。

## 編集後記

今年は久しぶりに対面の学術集会が開催されました。便利なオンラインもよいですが、恩師や仲間と久しぶりに会える喜びは何にも代えられませぬ。来年は群馬県での開催が予定されています。今から発表に向けて準備を進め、ご褒美の温泉旅行を設定するのもいいですね。

広報委員会 崎山貴代、阿部正子、小池弘子